

2023年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年6月12日

上場会社名 株式会社ウイルコホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7831 URL <https://www.wellco-corp.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若林圭太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 大槻健 TEL 076-277-9831
 四半期報告書提出予定日 2023年6月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期第2四半期の連結業績（2022年11月1日～2023年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第2四半期	4,770	△5.2	6	△95.4	10	△94.6	△0	—
2022年10月期第2四半期	5,031	△17.1	151	△40.6	190	△29.4	162	△37.5

(注) 包括利益 2023年10月期第2四半期 120百万円 (△56.2%) 2022年10月期第2四半期 274百万円 (△8.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第2四半期	△0.01	—
2022年10月期第2四半期	6.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年10月期第2四半期	13,224	6,069	45.9
2022年10月期	12,537	5,999	47.8

(参考) 自己資本 2023年10月期第2四半期 6,069百万円 2022年10月期 5,999百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期	—	—	—	2.00	2.00
2023年10月期	—	—	—	—	—
2023年10月期（予想）	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年10月期の連結業績予想（2022年11月1日～2023年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	10.7	100	60.6	100	△24.4	100	△11.9	4.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年10月期2Q	24,650,800株	2022年10月期	24,650,800株
② 期末自己株式数	2023年10月期2Q	52,690株	2022年10月期	52,690株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年10月期2Q	24,598,110株	2022年10月期2Q	24,598,110株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載した予測数値は、現在入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な容認より異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2022年11月1日～2023年4月30日）における我が国経済は、2023年1-3月期のGDP成長率が、前期比で実質0.7%増（年率換算2.7%増）と3四半期ぶりのプラス成長となりました。国内においては、新型コロナウイルス感染症による社会経済活動への制限が緩和され飲食、観光業界には好影響を与えておりますが、一方では、消費者物価の値上がりが続いており、賃上げ効果を相殺する懸念も生じています。また、米国においてインフレ抑制のための金利引き上げが継続的に行われており、いくつかの銀行倒産も発生し、金融市場が世界的に混乱するリスクの高まりも見られます。ウクライナにおける戦争も1年以上も続いており、未だに解決の目途はたつてはならず、先行きについては予断を許さない状況にあります。

このような環境の中、情報・印刷事業におきましては、コロナによる行動制限が緩和され、イベントや集客活動が活性化しつつありますが、広告媒体の中心がフリーペーパーからネットへと引き続き移行し、フリーペーパーの受注量は減少が続いております。一方で、少ロット多品種・短納期生産が強みであるデジタル印刷はECサイト経由の受注が堅調なこともあり引き続き増加しましたが、フリーペーパー等の落ち込みをカバーするまでには至らず、セグメント売上高は4,399百万円（前年同期比3.3%減）となりました。利益面においては、4月から印刷用紙と電力料金が更に上昇し、製品価格の改定交渉を鋭意進めてまいりましたが、全体需要が減少する中で交渉には一定の時間を要するため、コスト増をフルにカバーするまでには至らず、セグメント利益は221百万円（前年同期比27.7%減）となりました。価格是正交渉につきましては第3四半期中で一定の目処が立つ見通しです。これまでも取り組んでおります多能工化、生産効率の向上等によるコスト削減については引き続き進めてまいります。デジタル印刷につきましてはECサイト経由の受注を一層強化してまいります。更に、第3四半期には、デジタル印刷とオフセット印刷との最適組み合わせによる顧客の印刷物廃棄ロスの最小化を図る新規受注案件も動き出すことから収益改善に資するものと考えております。また、顧客のSDGs活動へ貢献するために、従来のプラスチック製ファイルに代わる半透明性を有し、プラスチック製品に対し価格競争力のある紙製ファイルを開発し、既に一部の先進的企業には採用を頂いておりますが、引き続き普及を図ってまいります。

知育事業につきましては、繁忙期にあたる当第2四半期は順調に推移をしましたが、一方で、出版事業において予想を上回る返本並びに出版在庫の評価損が生じたため、セグメント売上高は506百万円（前年同期比15.8%減）、セグメント利益は26百万円の損失（前年同期は12百万円の利益）となりました。出版事業においては、昨年の中学の部に続き、今年は小学校の部において夏休みの課題図書に選出されたことから、夏休みに向けて相当部数の出版物の需要が見込めることになりました。また、3月・4月に実施した仏教園及び寺院向けの「花まつり」ダイレクトメールも好調に推移しました。幼保事業においては、2023年4月から設置が義務化された園バスの「園児置き去り防止安全装置」の販売に注力すると同時に、引き続き経費削減と効率化に努め、利益の改善を図ります。

その他事業におきましては、複数の販売チャネルで食品と化粧品の通信販売を行っておりますが、顧客基盤強化のための先行投資として広告宣伝費を投入した結果、セグメント売上高は26百万円、セグメント利益は19百万円の損失となりました。なお、その他事業は昨年7月より連結対象となったため、対前年比較を記載しておりません。引き続き、新規顧客の獲得に注力しつつアウトバウンドによるフォローも進め、定期顧客継続率向上を図るとともに費用対効果の高い販促ツールの活用により新規顧客獲得コストの低減を図ってまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,770百万円（前年同期比5.2%減）、営業利益は6百万円（前年同期比95.4%減）、経常利益は10百万円（前年同期比94.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は0百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益162百万円）となりました。

当社印刷製品関連情報提供サイトからのリード獲得、外部の営業支援会社の活用等を通じ、新規先との取引拡大を図ってまいります。また、生成AI技術を利用し、ECサイトの「プリントモール」、情報発信サイトの「賢者の販促」のより効果的な運営を進めてまいります。更に、デザイン面においては、画像生成AI技術を利用し、お客様の要望に素早く・効率的に印刷デザインの提案ができるよう、業務形態の早期一新に努めてまいります。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は13,224百万円と、前連結会計年度末に比べて686百万円増加いたしました。これは主として、現金及び預金の増加534百万円、投資有価証券の増加176百万円によるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は7,154百万円と、前連結会計年度末に比べて615百万円増加いたしました。これは主として、電子記録債務の増加608百万円、未払金の増加85百万円、リース債務の減少145百万円によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は6,069百万円と、前連結会計年度末に比べて70百万円増加いたしました。これは主として、利益剰余金の減少49百万円、その他有価証券評価差額金の増加124百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年10月通期連結業績予想につきましては、去る2022年12月12日に公表いたしました業績予想に変更がありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,522	5,057
受取手形及び売掛金	1,428	1,570
商品及び製品	445	418
仕掛品	95	72
原材料及び貯蔵品	209	268
その他	119	93
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	6,820	7,479
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	924	891
機械装置及び運搬具（純額）	337	401
土地	2,101	2,101
リース資産（純額）	742	606
建設仮勘定	26	25
その他（純額）	16	18
有形固定資産合計	4,148	4,044
無形固定資産		
その他	77	84
無形固定資産合計	77	84
投資その他の資産		
投資有価証券	1,172	1,349
その他	333	279
貸倒引当金	△16	△12
投資その他の資産合計	1,490	1,616
固定資産合計	5,716	5,745
資産合計	12,537	13,224

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	521	594
電子記録債務	1,428	2,036
1年内返済予定の長期借入金	685	682
リース債務	271	320
未払金	402	487
未払法人税等	28	19
賞与引当金	27	28
その他	189	166
流動負債合計	3,554	4,335
固定負債		
長期借入金	1,613	1,580
リース債務	533	339
退職給付に係る負債	367	371
繰延税金負債	404	457
資産除去債務	12	12
その他	51	55
固定負債合計	2,983	2,818
負債合計	6,538	7,154
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,667	1,667
資本剰余金	1,758	1,758
利益剰余金	2,149	2,099
自己株式	△7	△7
株主資本合計	5,568	5,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	385	510
退職給付に係る調整累計額	45	40
その他の包括利益累計額合計	430	551
純資産合計	5,999	6,069
負債純資産合計	12,537	13,224

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
売上高	5,031	4,770
売上原価	3,990	3,913
売上総利益	1,040	856
販売費及び一般管理費	888	849
営業利益	151	6
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	11	11
持分法による投資利益	31	—
受取賃貸料	11	9
受取保険料	0	12
その他	8	10
営業外収益合計	64	45
営業外費用		
支払利息	22	21
不動産賃貸原価	2	2
持分法による投資損失	—	0
支払手数料	—	10
その他	0	6
営業外費用合計	25	42
経常利益	190	10
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	191	10
法人税、住民税及び事業税	29	9
法人税等調整額	△0	0
法人税等合計	28	10
四半期純利益又は四半期純損失(△)	162	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	162	△0

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	162	△0
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	115	124
退職給付に係る調整額	△3	△4
その他の包括利益合計	111	120
四半期包括利益	274	120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	274	120

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	191	10
減価償却費	212	179
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△21	△0
受取利息及び受取配当金	△12	△12
持分法による投資損益 (△は益)	△31	0
支払利息	22	21
売上債権の増減額 (△は増加)	264	△141
棚卸資産の増減額 (△は増加)	8	△8
仕入債務の増減額 (△は減少)	169	680
その他	△4	41
小計	797	770
利息及び配当金の受取額	12	13
利息の支払額	△22	△20
法人税等の還付額	19	4
法人税等の支払額	△15	△19
営業活動によるキャッシュ・フロー	791	748
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20	△28
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△45	△9
その他	△2	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200	300
長期借入金の返済による支出	△345	△336
リース債務の返済による支出	△111	△83
配当金の支払額	△48	△48
財務活動によるキャッシュ・フロー	△306	△168
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	419	534
現金及び現金同等物の期首残高	3,647	4,005
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,066	4,539

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2021年11月1日 至 2022年4月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	情報・印刷事業	知育事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,429	601	5,031	—	5,031
セグメント間の内部売上高 又は振替高	119	—	119	△119	—
計	4,548	601	5,150	△119	5,031
セグメント利益	306	12	318	△167	151

(注) 1 セグメント利益の調整額△167百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2022年11月1日 至 2023年4月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	情報・印刷 事業	知育事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,237	506	4,744	26	4,770	—	4,770
セグメント間の内部売上 高又は振替高	162	—	162	—	162	△162	—
計	4,399	506	4,906	26	4,932	△162	4,770
セグメント利益又は損失 (△)	221	△26	195	△19	175	△168	6

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通信販売事業になります。これは、前連結会計年度において、笹岡薬品通販株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い新設した区分であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△168百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間（自 2021年11月1日 至 2022年4月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	情報・印刷 事業	知育 事業	
印刷	4,429	—	4,429
物販	—	502	502
書籍・教材	—	98	98
顧客との契約から生じる 収益	4,429	601	5,031
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	4,429	601	5,031

当第2四半期連結累計期間（自 2022年11月1日 至 2023年4月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	情報・印刷 事業	知育 事業	計		
印刷	4,237	—	4,237	—	4,237
物販	—	412	412	26	438
書籍・教材	—	94	94	—	94
顧客との契約から生じる 収益	4,237	506	4,744	26	4,770
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,237	506	4,744	26	4,770

(注) 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通信販売事業になります。